

# 取扱説明書

## モノタロウ メガホン 録音できる ハンドマイク付き 注文コード:13615334

このたびは、メガホン 録音できる ハンドマイク付きをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

### 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。  
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

**△警告** この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

**△注意** この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「けがや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

**ご使用上の注意** 【はじめに】誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。  
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

<b>△警告</b>	※用途以外の使用はしないでください。※人やペットの耳の近くで絶対に使用しないでください。鼓膜を損傷するおそれがあります。 ※古い電池と新しい電池または異種の電池と混用して使用しないでください。
<b>△注意</b>	※高温の場所またはその近くで使用しないでください。製品が変形したり、故障したりするおそれがあります。※本製品に打撃を与えないでください。 故障の原因になります。※磁気を帯びているものに近づけないでください。製品に影響を及ぼすことがあります。 ※本製品を分解したり、改造しないでください。故障やケガの原因となります。

<b>△注意</b>	※水のかかる場所や、湿気の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
<b>△注意</b>	※電池の液漏れを防ぐために、以下を必ずお守りください。●電池の仕様表示に従って正しくご使用ください。 ●電池の+/-を本体に正しく入れてください。●ご使用後、必ず電源スイッチを「切」にしてください。●電池の液漏れを定期的に点検してください。 ●使い切った電池は、すぐに本体から取出してください。●長期間使用しない場合は、電池を本体から取出して保管してください。

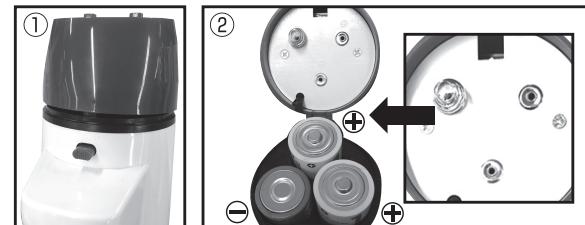
### 仕様

- 材質:(本体)ABS、ゴム、(ハンドマイク)ABS、(ストラップ)ナイロン
- 質量(g):約1000(電池を除く)
- 最大出力(W):20
- 使用電池:単1形アルカリ乾電池×6本(別売)
- 有効距離(m):約600-1000(使用状況により有効距離は異なる場合があります。)
- 機能:マイク(録音再生付き)、サイレン(外国パトカー音)
- 寸法(mm):約(全長)330×(全幅)220
- 付属品:ハンドマイク、ストラップ



### 電池の入れ方

- ①メガホンのグリップの真上にあるボタンを押しながら、手で電池ケースを開けてください。
- ②電池ケースに向きを間違えないように、単1形アルカリ乾電池6本を入れた後、フタを閉じてください。



### ご使用方法

まず、ボリュームレバーを左端にして、電源ボタンを「ON ■」の状態にし、電源ランプが点灯することを確認してください。

#### ●メガホンとしてご使用になる場合

「メガホン/サイレン」ボタンを「メガホン ■」の状態にしてください。  
上部にあるマイクに向かって、普通の声の大きさで話してください。  
ボリュームレバーを右に移動させていけば徐々に音量が大きくなります。

#### ●サイレンとしてご使用になる場合

「メガホン/サイレン」ボタンを「サイレン ■」の状態にしてください。  
ボリュームレバーを右に移動させていけば徐々にサイレン音が大きくなります。

#### ●ご使用にならない場合は電源ボタンを「OFF ■」の状態にしておいてください。

#### ●音声の録音と再生

録音の前にボリュームレバーを左端にしてください。  
電源ボタン「ON ■」の状態で録音ボタンを「ON ■」にしてください。電源ランプが点灯しますのでマイク部に向かって声を発してください。(※最大10秒間録音ができます。)  
録音後、録音ボタン「OFF ■」にして完了です。  
電源ボタン「ON ■」の状態で再生・停止切替スイッチを「再生 ■」にしていただくと録音した内容を繰返し再生できます。

### 保管上の注意

※水洗いはしないでください。故障の原因となります。※シンナー、ベンジンなど揮発性の高い薬品、クレンザーなどは使用しないでください。損傷したり、変色、変質の原因となります。

